



# その時のために **備**える

災害が起きて、命を守る最善の行動の選択を迫られた時、私たちはどのように行動するべきでしょうか。そして、どのような「備え」が必要なのでしょう。雨季を迎えるにあたり、私たちにできることを確認しましょう。

**自分たちの地域にも危険箇所があるのを知りました**

防災に関する授業で、自分たちの住む地域のマップをもとに、危険箇所や避難所の確認をしました。自分が住んでいるところにも、意外と危険な場所が多かったことに驚きました。今までは川が近くにあるところなど浸水しそうな箇所を意識せず何気なく過ごしていましたが、災害が起きたとき冷静に行動できるように、日頃から防災マップなどに目を通し、危険な場所を避けて避難できるようにしたいです。

## 防災マップで事前の行動確認

鹿屋市防災マップを活用して、避難の際に準備や移動にかかる時間をあらかじめチェックして、「マイタイムライン」を作りましょう。避難に必要な時間を把握することで、実際に行動するとき、落ち着いて避難することができます。(防災マップ P37)



### 避難のタイミングを考える

避難にかかる時間を計算して、避難行動を開始するタイミングを考えましょう。



## 防災さんぽで普段から避難経路をチェック!!

天気の良い日などに実際の避難経路を歩く「防災さんぽ」にも取り組んでみましょう。避難所までの経路を複数知っておくことも避難に有効です。



## 届出避難所で迅速な避難が可能に

自主防災組織（町内会）が所有する公民館等を避難所として活用する仕組みが6月から始まります。これにより、地域住民の判断で迅速かつ柔軟な避難所開設ができ、身近な施設に避難することができるなど、様々な効果が期待できます。

### 開設可能な建物

- 町内会所有の公民館等
  - 民間施設等で施設所有者の同意が得られる建物
- ※危険区域に立地しておらず、耐震基準を満たすもの

## 災害時の情報収集に

市の情報発信ツールを活用して、災害時の情報収集に役立てましょう。



## 警戒レベル 4 までに避難完了

これまでは、避難勧告が出て住民が逃げずに被災してしまうケースが全国的に見られました。そこで、国はこれまで定めていた警戒レベルの見直しを行い、災害時に住民が取るべき行動を示す5段階の警戒レベルについて、上から2番目のレベル4に位置付けていた指示と勧告を「避難指示」に決めました。警戒レベル4が出るまでに避難が完了するよう行動しましょう。

### 警戒レベルと避難行動 (令和3年5月20日改定)



グループワークでの、危険箇所区域の確認



▲細山田中学校3年 きはら こはる 木原 心春さん

## 出前講座で防災について考えよう!!

町内会やグループ単位で防災について学べる出前講座を行っています。

- 講座名 家庭でできる防災対策と自主防災組織
- 内容

- 鹿屋市防災マップを使って 家庭でできる防災対策
- 「共助」の中心となる 自主防災組織の役割 等



閩市安全安心課 Tel 0994-31-1124

踏まえて、これからどのような行動を取る必要があるのでしょうか。まず大切なのは避難スイッチです。あらかじめ大雨が予想されていて、自分で危ないと判断したら避難情報が出る前に行動のスイッチを入れてください。また、避難にかかる時間をチェックする「マイタイムライン」や、天気の良い日に避難経路や避難所を確認する「防災さんぽ」もいざというときの判断に非常に有効です。

今年もまた雨季がやってきました。昨年刷新した防災マップや市の情報収集ツールを活用して、日頃から防災意識を高め、有事の際に冷静な行動ができるようにしてほしいと思います。

## 日頃からできる災害対策で 有事に備えましょう

近年、自然災害に関するキーワードに「激甚化」と「頻発化」という言葉が挙げられます。これは地球温暖化の影響で、これまで経験したことのない災害が、今後頻繁に起こる可能性があることを指します。また、今年天気予報等で使われる平年値が更新されました。昨年までと違い、降水量が一割増しとなり「平年並みの雨」といっても雨量が多いので注意が必要です。



▲市安全安心課 防災専門官 めくみず ともひろ 温水 智洋さん